



### 有松まちづくりの会役員会 (5月22日)

中濱新会長の下での初会合となりました。「皆さんと力を合わせて町づくりを進めていきたい」との挨拶の後、新役員の自己紹介で和やかに会は進行。令和5年度の事業・活動計画については、次回に具体案を検討することになりました。また、安城七夕まつりへの参加の可否が検討されました。その後、「各部・委員会報告」「関連諸団体・諸事業の経過報告」がありました。

### 有松まちづくりの会総会 (5月18日)

有松・鳴海絞会館で今年度の総会が開かれました。

令和4年度の事業報告等と5年度の事業計画並びに収支予算案に

ついて審議が行われ、承認されました。そして、引き続き令和5年度の役員人事について、下記のように提案され、承認されました。



退任で花束を贈呈される竹田前会長



挨拶する中濱新会長

#### 令和5年度選任 役員名

会 長：中濱 豊

副会長：鋤柄道雄(財務担当)・久野剛資(総務担当)・根尾文彦(企画担当)

理 事：阿知葉征彦(有松町並み相談会事務局)・中島信行(企画事業統括)・伊藤総俊(広報部)

梶野 泉(広報部)・加藤明美(広報部)・川口廣次(企画部)・鈴木章二(財務部)

長塚 啓(広報部)・名桐秋雄(広報部)・成田基雄(広報部)・服部 亨(総務部)

武馬淑恵(総務部)・本田雅巳(広報部)・六鹿晴美(財務部)・山上正晃(総務部)

山田修生(事業部)・中村淑子(事業部)・山本文雄(広報部)

監 査：柴田幸生・久田耕一郎

顧 問：服部 豊・竹田嘉兵衛

参 与：梶野幸男・藤枝静次・高瀬喜祥

(敬称略 順不同)

#### 新会長挨拶

中濱新会長より「よろしくお願ひします。これまで皆さんと作り上げてきたことを続けていきたいです。重伝建の選定・日本遺産の認定を得た今、新たなスタート地点に立っています。大きな変換点のこの時期、行政の力も借りながら事業を進めていきたいです」との話がありました。

## 有松天満社で神前結婚式（4月30日）

有松天満社の知名度も年々アップ。それに貢献しているものの一つに神前結婚式があります。

8:30から文嶺講の皆さんが社殿への幕の取り付けなど式場準備に大忙しです。成海神社の亀垣禰宜も巫女さんと式進行の打合せに余念がありません。他方、竹田嘉兵衛商店では新婦の着付け。有松・鳴海絞りの白無垢には絞り独特の凹凸感があり、光沢のある生地と相まって息をのむほどの素晴らしさです。

雨模様のため、本来は東海道を一部歩いてから天満社へ向かうのですが、今日は最初からタクシーでの移動となりました。天満社到着後、親族同席のもと厳かに式が挙行され、最後に写真撮影で終了しました。



打合せの様子



竹田嘉兵衛商店前



結婚式の様子

## 外国からのお客様（5月13日）

コロナもかなり落ち着き、日本を訪れる外国人観光客もめっきり増えてきました。有松でも、この日名古屋商科大学の留学生30名を引率の先生と共に迎えしました。出身国は様々でまさにインターナショナルという雰囲気でした。絞り体験や町並み散策をグループごとに行う企画でした。有松あないびとの会では、会長さんの他国際部の4人が町並み案内をしていました。

学生さんたちの主な目的は伝統産業である有松絞りについて、学び、さらにそれを未来に発展させていく方法をさぐるという内容でした。町並み案内だけでなく、いくつかのお店に寄り、インタビューなども実施していました。山車会館では、からくり人形や修復中の大幕などをとても興味深く見てみえて、担当の方の説明も熱心に聞いておられました。

ワークショップの担当の方々、絞りの実演の方々、山車の担当の方々、お店の方々など多くの町の方々に協力していただいた研修でもあったようです。

↓絞会館での集合写真



↑彩 AyaIrodori での実習を終えて



## NPO法人 桶狭間古戦場保存会 総会（5月5日）

平成29年設立以来7回目の総会が運営委員36名(総数40名委任状を含む)で開催されました。梶野泉理事長の挨拶後、以下の議案が提案審議され、賛成多数(拍手)で可決成立となりました。



- ・第1号議案 令和4年度事業報告並びに収支決算報告・監査報告
- ・第2号議案 令和5年度事業計画並びに収支予算

総会のなかで説明された令和4年度事業報告の要点は次の3項目に集約されました。

- ① 観光案内所はボランティアスタッフによる年中無休の運営が続けられ、観光拠点の役割も定着してきました。愛知県内が多いものの、全国各地からの来訪者は年間6000人を超えました。
- ② 新しい観光商品として桶狭間の戦いに関する「合戦印」「御城印」を発売。好評を博す。
- ③ 名古屋市SDGs 推進プラットフォームに登録が実現しました。これを機会に、桶狭間の戦いに関する史跡・記録・伝承の保存を推進し歴史を活かした観光まちづくりに弾みがつきました。

## 2023桶狭間古戦場まつり 於:桶狭間古戦場公園・長福寺・大池（5月14日）

4年ぶりの開催とのこと。まつり当日は小雨で、ステージイベントや午後の甲冑隊パレードは中止となりましたが、多くの方が訪れていました。

古戦場公園では、今川義元の墓碑「駿公墓偈」前で盛大に慰霊式典が行われ、周囲を見ると史跡巡りツアー・スタンプラリー・輪ゴム火縄銃・忍術修行・甲冑試着体験・ミニ四駆レースが行われていました。

長福寺参道では食事を楽しむ人も見られました。

物品販売にも力が入られて、保存会の活気が伝わってきました。



18:30から大池では万灯会。桶狭間の戦いの戦死者を弔うため、3500本の灯ろうが点火されました。それに先立ち行われた桶狭間太鼓の演奏にも多くの方が集まっていました。



## 山車 話題3題

**神功皇后車**は明治6年(1873)に西町の注文により制作され、今年150年の節目となる年です。

これを記念して、春から「御朱印」が頒布されています。一枚一枚手書きのものです。主に土・日に中町年行司で取り扱っていますが、絞りまつりでは、更に西町山車庫でも取り扱うとのこと。



**唐子車**は5月25日に山車会館の展示から中町山車庫に戻りました。その1か月程前、かねて腐食で心配されていた山車庫の外柵が新調されました。

宮大工さんにより釘を使わないで作られています。檜の白木に黒の塗装がされて設置です。



## 布袋車

の四方を囲む4枚の大幕は損傷が激しく、現在復元新調中です。猩々緋に金糸で刺繍がされているもので、制作に10年程が予定されています。すでに鳳凰が描かれた正面幕は出来上がり有松に戻ってきています。5月末には詩文が縫われている後面の見送り幕も出来上がりました。

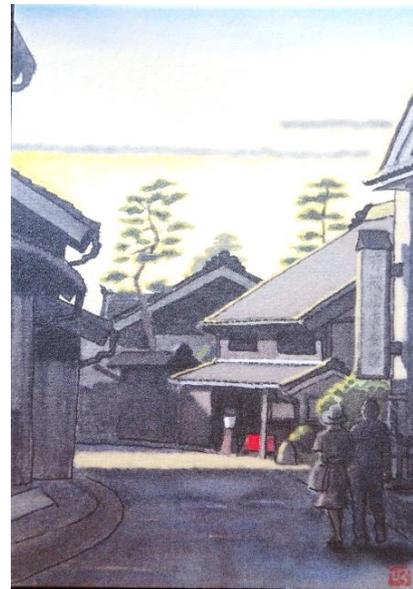


絞りまつりでは、山車会館和室で新しい見送り幕(写真は旧のもの)が披露されます。

### 《見送り幕の詩文》

到處盡逢(これから向かう処では)  
歡洽事(喜ばしいことに出会うでしょう)  
相見總是(いつもお互いみんなが)  
泰平人(穏やかでゆったりした人でありましょう)

## 川口廣次の有松街並情景図⑤



寿限無茶屋の夕景

## 催事・行事予定

- 6月3日(土)4日(日) 9:00~17:00 第39回有松絞りまつり 有松東海道一帯
- 6月11日(日) 14:00 水無月オカリナライブ 棚橋家住宅 有松町家ライブ実行委員会
- 6月19日(月) 18:00 有松町並み相談会 コミセン
- 6月25日(日) 7:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
- 6月26日(月) 18:00 有松まちづくりの会役員会 コミセン
- 6月27日(火) 15:00 NPOコンソーシアム有松 総会 竹田家三番蔵

発行者 中濱 豊(有松まちづくりの会 会長)

編集者 加藤 明美(有松まちづくりの会 広報部長)

pegasusb@mc.ccnw.ne.jp

有松まちづくりの会は、ホームページを公開しています。

